

国際福祉実習を通して私が得られたもの

はじめに、この国際福祉実習は私にとっては大きな挑戦としての位置づけにあった。私は高校2年生で初めて短期の留学をし、その際ホームステイ及び現地の人との交流がうまくいかなかったため、新たな挑戦、特に海外との交流等には特に慎重になっていた。しかし今回、国際福祉実習があることを知り、抱えてしまった苦手意識を改善するきっかけになると考えて参加を決めたという経緯がある。高校生の際は、自分の積極性が足りなかったこと、英語で謙遜や言い訳の表現があまりない、また、表現が難しいにもかかわらず、自分に対して卑屈な表現を多用してしまったこと、純粹に英語のリスニング、スピーキングの能力が足りなかったことが問題点としてあったと考え、今回の国際福祉実習においては上記の点を意識し、授業に臨もうと考えた。

国際福祉実習において私が新たに知り得たことは以下の2点である。1点目は、ハワイの大学のスポーツ参加に関する仕組みで、2点目は、ハワイの文化や精神についてである。1点目に関しては、ハワイ大学での授業の中で知ることが出来た。私が特に驚いたことは、ハワイでは大学スポーツが大学の大きな収入源になっていることと、一般生徒もスポーツに気軽に参加できる仕組みが整っているということである。日本では、大学スポーツで強い選手がいたり、強いチームがあったりしても、プロにつながる道といった捉え方をされている場合が多く、大学スポーツ自体が収入源となることは基本的にないように感じられる。学校という公的な仕組みのなかでは、スポーツ推薦等に関わる奨学金以外で、スポーツの試合や学生選手に金銭面を絡めることが難しいように感じられる。ハワイでは大学スポーツを大学において欠かせないものであり、生徒へのサポートが考えられていることが理解できた。また、ハワイの奨学金の分配に関わる課題も非常に興味深かった。アメリカの平等に分けるという考え方が仕組みのなかに入っており、それに伴い課題も存在していることが実感できた。一般生徒のスポーツ参加の仕組みについては、日本でも取り入れることでスポーツの振興、健康の維持、他者との協働等多くを学ぶことができるのではないかと考えた。スポーツの参加することで得られる利点だけでなく、大学内での雇用の創出という面もあり、たとえばスポーツチームに参加しない学生にも利点を与えることができると感じた。

2点目に関しては、フラ体験や、パシフィック大学の生徒と一緒に行った作業、その振り返りで学ぶことが出来たと考える。ハワイは自然と深い関係性があり、常に自然に感謝していること、自然が先生であること等、日本ではあまり感じないものばかりで新鮮だった。日

本は自然があまり近くになく、自然から何かを感じるということが少ないように感じられる。それに対してハワイは自然がずっと近くにあり、自然から多くのことを得られることがわかりやすいというのも考え方に関係しているのではないかとも感じた。

自分の成長を感じた点は以下の2点である。1点目は、現地の人に対して自分からコミュニケーションをとりにいけるようになったこと、2点目は、日本と違う文化に触れ、自分の視野の狭さに気づけたことである。

1点目は、パシフィック大学の学生さんとの交流会や、フィールドワークや自分たちで行きたい場所を決め、経路を確認する等によって成長できたと感じた。パシフィック大学の学生さんとの交流会は、2つの机に分かれて座って話をしたが、少しの会話でも全員と会話できるように自分から話しかけた。自分の趣味の話や学んでいる分野の話、ハワイの文化の話等、様々な事象について簡単にではあるが話すことができた。一方的な話ではなく、「コミュニケーション」を明確にとれたと感じた。相手の学生さんが気を遣ってくれたり、簡単な言い回しに変えてくれたりすることもあり、自分で完璧にできた訳ではないが、伝えたいことがしっかり伝わったことで自分の自信につながった。また、普段の生活の中で、質問事項や自分の気持ちの表現を自分からすることで、相手との距離が縮まったように感じた。

2点目は、この国際福祉実習すべてのプログラムにおいて感じることであった。日本では、時間に間に合うことが当たり前、〇〇することが当たり前といったように、自分が思い込んでいる「当たり前」に縛られていたけれど、ハワイの人はおおらかで、自分の信念に従って動いている人が多いように感じられ、自分が今までいかに狭い世界で生きてきたのかを実感することが出来た。アスレチックトレーナーに関する授業を受けた際には、自分が今まで考えてこなかった海外の大学や大学院で勉強する、就職するという選択肢が存在しており、自分の覚悟しだいでいくらでもなるということも理解でき、海外で自分の人生を送ることに少し興味が出てきた。

このように、今回の国際福祉実習において私は多くのことを学ぶことができた。今後も国際的な授業や、留学の機会があればまた挑戦してみたいと思う。

最後に、今回この国際福祉実習に参加出来たのは、金銭面の負担をしてくれた親や、事前学習、授業の担当をしてくださった先生方、事務局の方、ハワイで授業を引き受けてくださった先生方、学生さん方の尽力ありきのもので、感謝したいと思います。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。